

マララ・ユスフザイさんから考える

教育を受ける権利

中学校の道徳・人権学習 50 分授業案

学校へ行けることは、本当に「当たり前」なのか

※人物写真は使用せず、公式資料と事実に基づいて構成

1. 学校に行けることは「当たり前」か

授業の入口：自分の生活から考える

明日から、あなたは学校へ行ってはいけないと言われたら？

考えてみること

- ・何が困るか
- ・何が変わるか
- ・友達・進路・生活にどんな影響があるか
- ・「うれしい」と思った場合、なぜそう思うか

2. マララ・ユスフザイさんとは

人物を英雄化せず、基本的な事実を確認する

Malala Yousafzai

- ・ 1997 年、パキスタンのスワート地方に生まれる
- ・ 女子が学校へ通う権利を訴え続けた
- ・ 2012 年、15 歳のときに銃撃され重傷を負う
- ・ 2014 年、17 歳でノーベル平和賞を受賞

受賞理由：子どもや若者への抑圧に反対し、すべての子どもが教育を受ける権利のために活動したこと

3．何が奪われたのか

「学校へ行けない」の奥にあるもの

学校へ行けないことで、何が失われるのか

- ・ 読み書き・計算を学ぶ機会
- ・ 将来の選択肢
- ・ 社会の情報を得る機会
- ・ 自分の権利を知る機会
- ・ 人と関わり、考えを広げる機会

問い：教育を受けられないことは、なぜその人の人生全体に関わるのか

4．教育は「権利」

児童の権利に関する条約 第 28 条

子どもには、教育を受ける権利がある

初等教育の無償・義務化、中等教育へのアクセス、機会の平等などが示されている

教育は「受けさせてもらうもの」だけではなく、人が持つ権利でもある

出典： UNICEF 「 Convention on the Rights of the Child 」 Article 28

5．2026 年の世界の状況

マララさんの話を「昔の話」にしない

約 2 億 7300 万人

学校教育から外れている子ども・若者

世界の就学年齢人口のおよそ 6 人に 1 人

約 1 億 3300 万人

そのうち女子

約 1 億 4000 万人

そのうち男子

出典： UNESCO Global Education Monitoring Report 2026

6．なぜ学校へ行けないのか

一つの理由だけでは説明できない

- ・ 貧困
- ・ 障害
- ・ 児童婚
- ・ 学校や先生の不足
- ・ 紛争・避難
- ・ ジェンダーによる差別
- ・ 住んでいる地域・距離
- ・ 家庭や社会の事情

「本人の努力不足」だけで説明できる問題なのか

7. 声を上げる意味と難しさ

マララさんの行動を単純化しない

声を上げることで変わる可能性

- ・問題を社会に知らせる
- ・同じ状況の人の声になる
- ・制度や意識を変えるきっかけになる

声を上げることの難しさ

- ・危険が伴う場合がある
- ・周囲から批判されることがある
- ・安全のために黙る選択もある

問い：声を上げることを、個人の勇気だけで考えてよいのか

8．日本の自分たちに戻す

「恵まれているから学校へ行け」ではない

避けたいまとめ

世界には学校へ行きたくても行けない子がいる。だから日本の中学生は学校へ行き、もっと勉強しなさい。

考えたい問い

教育を受ける権利があるとは、自分たちにとって何を意味するのか。

9. 中心発問

授業の核心に戻る

教育を受けることは、なぜ「権利」なのだろう

考える手がかり

- ・ 教育があると、人は何を得られるのか
- ・ 教育が奪われると、何が失われるのか
- ・ 自分の考えは、授業前と比べて変わったか

10．考えを共有する

違う意見から考えを深める

共有の約束

- ・一つの正解を探す時間にしない
- ・友達の経験を無理に聞き出さない
- ・自分と違う意見から考えを広げる
- ・話したくないことは話さなくてよい

書くことも、考えることも、参加の一つ

11. 今日残すこと

決意表明ではなく、考えの変化を残す

授業前と比べて、何が変わったか。まだ何を考えたいか。

- 考えが変わったこと
- まだ答えが出ていないこと
- もっと調べたいこと
- 友達の意見から考えたこと

「マララさんのように行動します」と書かせる授業ではありません

12. 参考資料

授業資料を作るときは公式資料を確認する

- Nobel Prize: Malala Yousafzai - Facts
- Nobel Prize: Malala Yousafzai - Nobel Lecture
- UNICEF: Convention on the Rights of the Child, Article 28
- UNESCO: Global Education Monitoring Report 2026 - out-of-school children
- UNESCO: Gender equality and education

注意：画像検索で見つけた人物写真や講演全文の長い翻訳を、教材へ安易に転載しない

授業で使う場合は、出典・引用範囲・利用条件を確認する